

「写真が伝えた震災」 写真は記憶となり力となる



写真記者として国内外を取材してきた朝日新聞の森井英二郎さんが、東日本大震災の現場で感じた使命や悩みについて話します。今でも小中学校の道徳の教科書に掲載されている「亡き母に捧げるトランペットの少女」の話にも触れる。

日時：2024年3月16日(土)14時30分～15時30分

＜受付：14時から＞

会場：静岡県教育会館・4F(大会議室) 静岡市葵区駿府町1-12

講師：全日写連関東本部事務局長 森井 英二郎氏

神奈川県出身。1998年朝日新聞入社。出版局写真部、東京本社映像報道部、大阪本社映像報道部次長を経て、現在は全日本写真連盟関東本部事務局長。2011年「祈りのとき震災から1カ月」で東京写真記者協会賞受賞。

＜参加費＞ 会員・一般共 500円 (一部を能登半島地震義援金として寄付させていただきます)

＜お申込み＞ 事前にお申込みが必要です。全日写連の会員でない方の参加も大歓迎です。

- ・住所・氏名・電話番号 質問事項(あれば)を下記のいずれかで、お申込みください。
- ・募集人数50～60名(申込多数の場合抽選とさせていただきます)
- ・県本部支部会員は、支部ごとに参加者を取りまとめてお申込みください。

＜申込先＞ ・eメール szkson311@yahoo.co.jp …鈴木宛 / FAX: 0558-76-3880 …藤田宛

＜申込締切り＞ 2024年2月28日(木)

＜会場＞ 静岡県教育会館は新静岡セノバの向かい側(通りを隔てて)駿府城外堀側となります。
☎:054(252)1011